

あすならホーム畝傍 小規模多機能型居宅介護 運営推進会議議事録

開催日時	2024年7月19日(金) 10:00~11:30																											
運営推進会議メンバー (参加者)	1. 利用者、家族：0名<参加予定者は健康上の都合から急遽欠席> 2. 地域代表：4名(民生委員長)(老人会会長)、(まちかどネット畝傍 2名) 3. 市・包括職員：1名(樫原市長寿介護課) 4. 職員：3名																											
利用者登録状況 (7月17日現在)	1. グループホーム：18名 2. 小規模多機能型居宅介護：29名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：52名 4. 訪問看護：21名 5. ケアプランセンター：79名(要介護)																											
	<小規模多機能の利用者の介護度> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>要支援</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要介護</th> <th>要介護</th> <th>要介護</th> <th>要介護</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">                     ※平均介護度は 3.0 の状況                      ※泊り平均 8.0人 通い平均 18.0人                 </p>		要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計		1	2	1	2	3	4	5		7月	1	0	5	4	9	3	7	29
	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計																				
	1	2	1	2	3	4	5																					
7月	1	0	5	4	9	3	7	29																				
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 (1) ランチ企画 月6回(0と5のつく日)実施。 ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1) 新型コロナウイルス感染防止に留意。2) 自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3) 暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、20名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認(脱水・熱中症、自然災害) 学習会 (1) 春と秋の「あすなら学習会」を春3回、秋3回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 ・4月30日(火)22人、5月28日(火)15人、6月25日(火)28人 計65人の参加 (2) 福祉講演会(法人)…毎年、年2回開催。 (3) 福祉学習会(法人)…年4回程度、テーマを設定し県内各地で開催。 (4) 買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積ん																											

だトラックが週2回（火曜日と土曜日）、「移動店舗」が巡回。

→8月から週1回（土曜日）に変更

(5)ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援

### 3. 榎原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

(1)当会は、地域包括ケアシステム構築のため、榎原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、榎原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。

(2)8月30日、「認知症の人の意思決定支援、ACP」の学習交流会を開催。

### 4. 感染症予防：

(1)新型コロナウイルス対策<with コロナ>

①現状：5月、7月において、職員及び利用者・入居者でコロナ陽性。

②予防：①利用者…定期的なワクチン接種。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。③面会…発生時の中止。通常において、居室での家族との面会は感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。

(2)インフルエンザ

・毎年の秋に、利用者及び職員を対象に予防接種。

(3)ノロウイルス

・処置備品の在庫確認と処置訓練

(4)会議、研修など

①事業所…感染対策委員会（年2回）、感染症研修（年2回）

②法人…感染症予防対策委員会（11月）、全体会議（秋）

### 5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照

(1)入居者の様子

①お出かけ…原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。

②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。

③おやつ企画、食事企画

(2)重大事故 この2カ月間、発生なし。

(3)取り組み状況と今後の取り組み

①重度認知症で要介護3の女性。以前より、小規模多機能で相談を受けており、登録の待機をして頂いていたがその間、家族は疲弊し、他の施設に入所する事になった。しかし、入所したとたんに入眠剤の服用を進められ、(3日目)本人のADLの顕著な低下あり、家族は後悔し、退居。認知症に特化している小規模多機能で再度、本人を受け入れてほしいと依頼を受ける。7月12日に受け入れし、1週間連泊。3日程で改善。笑顔が見られ、発語も出てくる。家族の就労に合わせて(通い朝8時～20時まで受け入れ)(仕事が忙しい4週目だけ1週間泊る。)(自宅の日どうしようもなかったら、駆けつけ)等ショートデイでは対応できない柔軟さで対応するとプランニングし、家族は前向きになり、来週在宅復帰予定である。通い、泊りの場所が一つであるという事も今後、利用に安心していただける要素になる。

②小規模多機能の管理者が認知症リーダー研修を受講中。認知症対応をさらに強化し、地域で安心して頂ける、高度な認知症のご対応やプランニングも「あすならホーム畝傍」だと言って頂けるよう認知症対応を強化した施設の存在を目指していく。

③引き続き、感染症予防を職員一同努めている。

	<p>6. 防災関連</p> <p>(1) 消防訓練…年2回、</p> <p>(2) 自然災害…9月1日(地震防災訓練) 3月11日(水災害避難訓練)</p> <p>(3) 防災感染症対策委員会…1月</p>
<p>今後の予定</p>	<p>◎ホームの予定</p> <p>(1) 新設 看護小規模多機能型居宅看護サービスの建設  ①8月8日:地鎮祭                      ②8月中旬:建設開始</p> <p>(2) グループホーム家族懇親会…秋予定</p> <p>(3) 秋のあすなら学習会…10月～12月</p>
<p>評価・要望・意見等</p>	<p>1. 利用者・家族  &lt;参加予定者は健康上の都合から急遽欠席&gt;</p> <p>2. 地域代表・地域住民・行政</p> <p>(1) 介護予防の観点から、各地域の身近な所(集会所、公民館等)を開放し、気軽に参加できる場所を拡充していくことが大切になる。</p> <p>(2) 身内での介護経験から、「約7年間、旦那が奥さんを介護し、その後、看取った。ひと段落すると思っていたが、奥さんの後を追うように亡くなった」。夫婦の場合、奥さんが先立たれると旦那の気持ちがダウンすることを実感した。</p> <p>(3) 最近、高齢者用のおむつを購入する姿を普通に見かけるようになった。身内の介護経験から防水シートも必需品である。若い年齢層も大切だが、高齢者層の支援も大切。</p> <p>(4) コロナ禍では、人との関わりが少なくなり、体力の低下及び認知症状が悪化した印象を実感した。多くのボランティア活動に参加することで介護予防にもなっているが、最近、体の衰えを実感している。</p> <p>(5) 7月から榎原市内の高齢者福祉事業所で、新型コロナウイルス陽性者が増加している。また、最近の猛暑により、熱中症の症状を訴える市民が増加しているので、厚生労働省発行の「熱中症予防のために」チラシを参考にして、夏本番に備えてほしい。</p>
<p>その他必要な事項</p>	<p>◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等</p> <p>1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会(2023年度:半年に1回)、身体拘束適正化委員会(2023年度:3か月に1回開催。)を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習(2024年度:年2回&lt;①6・7月(個人情報保護含む)②2025年2月&gt;)を実施。  ・6月及び7月に学習している「虐待防止及び身体拘束適正に関する学習資料」について、説明をした。</p> <p>2. 2019年9月28日以降、緊急やむ得ない場合も含め、2024年7月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。</p>

次回開催予定:2024年9月13日(金)(場所:あすならホーム畝傍 サロンスペース)



あすならホーム畝傍 小規模多機能型居宅介護 運営推進会議議事録

開催日時	2024年5月17日(金) 10:00~11:30																
運営推進会議メンバー (参加者)	1. 利用者、家族：1名 2. 地域代表：3名(老人会会長)、(まちかどネット畝傍 2名) 3. 市・包括職員：1名(榎原市長寿介護課) 4. 職員：3名																
利用者登録状況 (5月16日現在)	1. グループホーム：18名 2. 小規模多機能型居宅介護：29名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：56名 4. 訪問看護：24名 5. ケアプランセンター：74名(要介護)																
<p style="margin: 0;">&lt;小規模多機能利用者の介護度&gt;</p> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">要支援2</th> <th style="width: 10%;">要介護1</th> <th style="width: 10%;">要介護2</th> <th style="width: 10%;">要介護3</th> <th style="width: 10%;">要介護4</th> <th style="width: 10%;">要介護5</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin: 5px 0 0 40px;">※平均介護度は 3.0 の状況</p>			要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	5月	1	0	4	8	3	7	18
	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計										
5月	1	0	4	8	3	7	18										
報告事項	<p>◎ホームの取り組み</p> <p>1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。</p> <p>2. 地域貢献活動について</p> <p style="margin-left: 20px;"><b>サロン活動</b></p> <p style="margin-left: 40px;">(1) ランチ企画 月6回(0と5のつく日)6月から月3回で再開し、昨年10月から6回実施</p> <p style="margin-left: 40px;">①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。</p> <p style="margin-left: 40px;">②運営 1) 新型コロナウイルス感染防止に留意。2) 自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。</p> <p style="margin-left: 40px;">3) 暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。</p> <p style="margin-left: 40px;">③現状…毎回、20名前後の地域の方が参加。</p> <p style="margin-left: 20px;"><b>つながり連絡員制度</b></p> <p style="margin-left: 40px;">・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認(脱水・熱中症、自然災害)</p> <p style="margin-left: 20px;"><b>学習会</b></p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 春と秋の「あすなら学習会」を春3回、秋3回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) 福祉講演会(法人)…毎年、年2回開催。</p> <p style="margin-left: 40px;">(3) 福祉学習会(法人)…年4回程度、テーマを設定し県内各地で開催。</p> <p style="margin-left: 40px;">(4) 買い物支援…買い物に不便を抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週2回(火曜日と土曜日)、「移動店舗」が巡回。</p> <p style="margin-left: 40px;">(5) ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援</p>																



	<p>3. 樫原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み  (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、樫原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、樫原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。</p> <p>4. 感染症予防：11月～3月 感染症予防月間  (1) 新型コロナウイルス対策&lt;with コロナ&gt;  1) 予防：①利用者…定期的なワクチン接種。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。3) 面会…居室での家族との面会は、感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。  (2) インフルエンザ  ・毎年の秋に、利用者及び職員を対象に予防接種。  (3) ノロウイルス  ・処置備品の在庫確認と処置訓練  (4) 会議、研修など  ①事業所…感染対策委員会（年2回）、感染症研修（年2回）  ②法人…感染症予防対策委員会（11月）、全体会議（秋）</p> <p>5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照  (1) 入居者の様子  ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。  ②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。  ③おやつ企画、食事企画  (2) 重大事故 この2カ月間、発生なし  (3) 取り組み状況と今後の取り組み  ①積極的に要介護3～要介護5の方の在宅の暮らしを支えている。昨年秋口10月頃～現在まで、施設退所や退院後の受入れを強化している。  病院では『老健や施設しかない。家は無理』と言われた方が、殆どですが、在宅復帰できる事例が多くあった。慣れた親しんだ場所、慣れ親しんだ職員での生活リハビリや多機能の重要性と使命感を感じる。  ②中重度認知症・難聴であるため相互コミュニケーションをとる事が難しい利用者に、本人から時間をかけ、色々とお話を聞き、本人が分かるタイミングまで待つ事を大切にしています。  ③認知症対応をさらに強化し、地域で安心して頂ける高度な認知症の対応やプランニングも納得頂けるよう認知症対応を強化した施設の存在を目指す。  (4) 引き続き、感染症予防を職員一同努めている。</p> <p>6. 防災関連  (1) 消防訓練…年2回、  (2) 自然災害…9月1日（地震防災訓練）3月11日（水災害避難訓練）  (3) 防災感染症対策委員会…1月</p>
今後の予定	<p>◎ホームの予定  (1) 「春のあすなら学習会」…5月28日（火）、6月25日（火）のいずれも10：30～12：00開催。  (2) 看護小規模多機能型居宅看護サービスの建設</p>

<p>評価・要望・意見等</p>	<p>1. 利用者・家族</p> <p>(1) 本人は骨折のきっかけに、退院後、自宅での暮らしは困難であると病院から通知され、不安となった。</p> <p>(2) 「あすならホーム畝傍」に相談したところ、小規模多機能のサービスを提案され、本人も家族も元気で暮らすことができ、感謝している。</p> <p>2. 地域代表・地域住民・行政</p> <p>(1) サロン活動でランチ企画の支援をしている。住んでいる団地も高齢化が進んでいるので、相談できる場所（あすならホーム畝傍）があることを紹介したい。</p> <p>(2) 介護保険の事業サービスを受けていて認知症の方が外出する場合は、本人と家族の意向を最優先に尊重し、施設側は手伝いをする立場であることが分かった。</p> <p>(3) 利用者の家族の介護経験を聞いて、家族の苦勞が身に染みた。地域包括支援センターや「街の介護相談室」など、身近で相談できる所の設置と周知が今後、求められる。</p> <p>(4) 身近な所で気軽に相談できる場所を拡充していくと同時に、ご近所同士で気にかけていただき、相談につなげることも大切になる。 運営推進会議において、利用者またはその家族同士の意見交流（体験談含む）が有意義なので、可能な限り、各部門複数名以上の参加が好ましい。</p>
<p>その他必要な事項</p>	<p>◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等</p> <p>1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023年度：半年に1回）、身体拘束適正化委員会（2023年度：3か月に1回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2024年度：年2回&lt;①6・7月（個人情報保護含む）②2025年2月&gt;）を実施。</p> <p>2. 2016年7月以降、緊急やむを得ない場合も含め、2024年5月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。</p>

次回開催予定：2024年7月19日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）